

平成28年度第1回宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
質疑応答議事録

日時：平成28年10月6日13:30～15:30

場所：宇土市役所 仮設庁舎2階来賓室

(1) 平成27年度KPI達成状況について

事務局 別紙資料1～4を基に①地方創生先行型交付金で設定したKPIの達成状況、
②総合戦略で設定したKPIの達成状況及び検証方法について説明

澤田会長 今回は、資料3・4に掲載されている内容について意見をいただきたい。

早田委員 事業内容の変更や、KPIの変更は可能か。

事務局 国も毎年度の検証で設定を見直すとしており、本市においても個々のKPIについては随時見直す予定としている。検証等により、実情に合わない項目も出てくるので、変えた方が適切なものに関しては変えていくべきだと考えている。

早田委員 地震の影響を受けて見直しを検討されている項目はあるか。

事務局 現時点では状況の把握ができていないため分からない。
そもそもこの総合戦略自体が過去のデータに基づいているものなので、目標の土台自体が今回の地震により揺らいでいる。とりあえず今後1年間はこの目標を掲げていき、明らかに達成が無理と分かる項目に関しては、状況に応じて変えていく。

早田委員 平成28年度中にKPIを変更する可能性はあるか。

事務局 今のところあまり考えてはいない。自分たちでやっていてあまり効果が出ないものなど、時期が来ればわかると思うので、そこでようやく次年度から変えていかなければならないものが分かってくると思う。そのタイミングが次年度なのか今年度末なのかというところ。

早田委員 達成が明らかに難しい目標は目標にならないと思うので、地震の影響を受けている項目に関しては積極的に見直すようにしてもいいのではないかと。逆に地震を受けたことによって生じる目標があれば、それも盛り込んでよいのではないかと。

事務局 地震によって今までになかった新たな財政需要が出てきているので、予定していたが実施できない事業なども出てくると思う。ご意見の通り、見直せるものについては見直していきたい。

井上委員 資料3の10番「融資実施件数」とは宇土市が行った融資の実績ということか。

事務局 はい。実績がなかなかあがっていないので、見直しが必要と考えている。

井上委員 融資限度額が決まっていると思うが、それを引き上げる等してもらえれば、使い勝手が良くなるのではないかと思う。

事務局 利率など提案していただけたらと思う。

井上委員 資料3の18番に「カップリング数」があるが、これはビジネスマッチングという意味か。

事務局 婚活事業による男女のカップリング数のことである。

高橋委員 資料3の6番「新規創業件数」について、創業資金はどうやって調達しているのか。できれば支援をさせてもらいたいと思っている。また、開業人数は何人ほどいるのか、増えているのか減っているのかについて把握しているか。

事務局 次回までに調べておく。

伊勢委員 総合戦略に掲載している事業には、お金が掛かるものと掛からないものがあるか。

事務局 はい。どちらもある。

伊勢委員 国の補正予算で、補助の上乗せは行われるか。

事務局 ここで考えられているものについては今のところない。ただ、地方創生拠点整備交付金という交付金が創設された。次回以降の会議で示せればと考えているが、公民館や網田駅等の新築・改修に活用できればと考えている。

伊勢委員 新聞記事で、新たに補助金か何かが作られると書いてあったが。

事務局 復興基金のことだと思うが、補助制度がない神社仏閣や地域のコミュニティの再建が対象になる見込みである。

澤田会長 委員の皆様には資料3の指標を見て感じた素朴な疑問や意見などを検証シートで提出してもらいたい。そういった疑問や意見が、行政の気付きに繋がる。

(2) 宇土市震災復興計画（第1期）の策定について

- 事務局** 別紙資料5を基に宇土市震災復興計画（第1期）の策定方針等について説明
- 北野委員** 期間的にとても短いと思うが、その中でも各種団体などと広く意見交換ができる場を設けてほしい。
- 事務局** 各種団体には座談会の案内を送付している。生の声をできるだけききながら充実したものを作っていただけたらと思っている。
- 澤田会長** 座談会に住民、産業関係など各団体から集まるので、生活の復旧、産業の復旧などをいっぺんに話し合うのは難しいのではないか。
- 北野委員** 時間がないのであれば、座談会の日程で1部2部と分けて行うなどはどうか。
- 事務局** 総合計画・後期計画を策定したときは、漁業後継者の皆さん、農業後継者の皆さん、商工会青年部の皆さんなどと、7地区の座談会とは別に会議をした。開催については検討するが、今のところ別に行うのは時間的に難しい。
- 北野委員** 時間がないのであればヒアリングシートなどでもいいと思う。
- 事務局** 企業関係については震災直後の5月に企業訪問を行いどういった影響があったのか、どういったことが必要かなどヒアリングさせてもらった。改めてヒアリングはやりたいと思っている。
- 伊勢委員** 地震の震度計は宇土にいくつ置いてあるか。
- 事務局** 教育委員会に1つある。市役所庁舎にあったものは壊れた。
- 伊勢委員** 1つで大丈夫か。
- 事務局** 災害対策会議でも宇土市は東西に広がっているのですが、住吉、網田地区と宇土地区では震度が違うという話から、要望するという話が上がった。
- 伊勢委員** 内閣府の資料では、三角半島の付け根から住吉、網田方面は地盤がいいと書いてある。宇土市街地とは震度が異なり、住吉ではあまり揺れなかったように感じた。
- 渡並委員** 公共施設の普及について、使用できない（修理が必要な）施設はどのくらいあるのか。

事務局 建替えが必要で使えないのは老人福祉センター、中央公民館と網津支所である。中央公民館も現在使用できないが、建替えるかは検討中である。学校の体育館の天井が落ちて使えないというものがあるが、そこまでに大きな被害ではない。また、教室については問題ない。市民会館はステージの修理が必要である。

早田委員 復興計画について復旧・復興はスピードが大事ということだが、市民に何をいつするか提示することが大事だと思うので、県の作っているロードマップのようなものを示してもらいたい。また、基本理念を3つ掲げているが、理念1と2については分かりやすいが3の「創造的な復興」というのはなかなか分かりづらい。これについては施策の中にも入れていただきたい。

平岡委員 海拔の低い地域での災害時の対応策についても考えてもらいたい。

外山委員 「地域産業の再生」について、地震がある前からある空き店舗の活用など、今だからこそできることをやってほしい。震災があったためにメディアや一般の方も応援したいという意識が出てきているので、外に向けての発信についても考えてほしい。

井上委員 空き家対策について、阿蘇市で年間20万を3年間補助するという制度があった。それを活用して空き家を改修し飲食店を開業される方が沢山いた。結果3年間で空き家がなくなり、空き家を活用したいという人がいても物件がないというような状況になった。宇土市でも参考にしてほしい。

澤田会長 宇土市の被害がどれくらいだったのか、仮設住宅入居者はどのくらいなのか、そういった資料がないため被害が大きかったのか分からないが、実際、宇土市の被害は大きかったのか。

市役所の崩壊が全国ニュースにも取り上げられ、被害が大きかったように周知されている。実際、意外と住家など被害が大きくないのに庁舎の事でイメージダウンになってしまっているのか、それともやはり大きな被害を受けているのか、次回の会議ではデータを提示してほしい。

事務局 例えば、住家被害について、全壊や半壊の件数は益城町等と比べれば多くはない。ただ6月の豪雨により人命が損なわれているという点では被害は大きい。地震では宇土花園台地区、豪雨では西部地区が被害を受けている。局地的には大きな被害が出ているが、地域ごとにより差がある。新聞やニュースでシンボリックに庁舎が報道されている。

市庁舎については耐震性がないことは平成15年頃には分かっていた。しかし財政面から小中学校や市民が使う施設の改修などを優先していた。庁舎は地震だけでなくそういったことの犠牲でもある。たまたま宇土が大きく取り上げられているが、それは他の市町村でもいえることだと思う。

伊勢委員 網田，網津については地震の被害は大きくはないと思う。それよりも6月の豪雨の被害のほうが大きかったと思う。

澤田会長 宇土市の被害状況は，地域ごとに種類がさまざまであり地域ごとの復興が必要。庁舎が危ないというのは前から聞いていたが，市としては予算の枠組みの中で庁舎よりも子供たちの安全を最優先にし，小中学校の耐震の方を先にやりたいということだった。結果的に庁舎はこういうことになってしまったが，小中学校については倒壊などなかった。市の優先順位の結果，庁舎は犠牲になったが，そのことは復興の過程としてPRしていくチャンスでもある。熊本城しかり。熊本地震において復興に課程を打ち出していくなどいろんな視点を盛り込んだ復興計画にしてほしい。

早田委員 市役所が使えなくなり機能が停止している中，テントの中で職員の皆さんが電話もパソコンもない中で必死に災害対策をされたことは，熊本県の他の市町村ではないこと。この経験は宇土市の財産として記録に残して行ってほしい。

澤田会長 ニュース番組等についても記録として残しておいた方がいいと思う。

伊勢委員 職員の皆さんの働き方が良かったと思う。

今後について

- ・平成28年11月中旬～下旬頃に第2回会議を開催予定